

# 第3学年3組美術科学習指導案

指導者 渡邊 洋往

- 1 日 時 令和4年6月10日（金）13:10～14:00
- 2 単 元 名 美術館を考えよう～高松松平家博物図譜展示を通して～
- 3 学 習 空 間 美術室
- 4 単元（題材）について

(1) 美術館は文化庁の分類では博物館の一形態とされる。資料収集・保存、調査研究、展示、教育普及が博物館の4（5）機能とされている。香川県立ミュージアムは歴史博物館と美術館の機能を合わせ持つ総合的なミュージアムとして、展示・普及・調査研究などの諸活動を通じ、香川の文化拠点として幅広い活動を行っている。

高松松平家博物図譜（以下博物図譜）は高松松平家に伝来する4種類13帖の博物図譜（図鑑）である。高松藩5代藩主松平頼恭の命を受け制作されたと考えられており、現在は香川県立ミュージアムに委託保管されている。動植物を細密・正確に描いた図は、図鑑として非常に質が高く、加えて美術品としても十分鑑賞されうる美しさを備えていることから、江戸時代博物図譜の白眉として全国的に知られている。また、近年の研究によって博物図譜が他の図譜にしばしば模写されていることが明らかにされており、後世に多大な影響を与えた重要な図譜として評価が高まっている。（香川県立ミュージアムHPより抜粋）しかし、県内中学生の知名度は低く9割以上の生徒は本作品の存在を知らない。

本題材では、博物図譜をテーマとした自分たちの作品の展示を香川県立ミュージアムで行う活動を通して、美術館の機能のうち、展示、教育普及に関する機能について考えさせる。作品鑑賞を通して感じたことを表現し、実際の美術館に展示することで、展示する側として作品の魅力伝える視点をもたせることができる。

(2) 本学級の生徒は男子16名、女子19名の合計35名である。美術の授業に対して「好き・やや好き」と答えた生徒は18名（54.5%）であり、「苦手・やや苦手」と答えた生徒は2名（6.1%）であった。描くことに対して「好き・やや好き」と答えた生徒は17名（51.5%）であり、「苦手・やや苦手」と答えた生徒は9名（27.3%）であった。ものをつくることに対して「好き・やや好き」と答えた生徒は24名（72.7%）、であり、「苦手・やや苦手」と答えた生徒は3名（9.1%）であった。鑑賞の授業について「好き・やや好き」と答えた生徒は16名（48.5%）であり、「苦手・やや苦手」と答えた生徒は11名（33.3%）であった。以上より、美術科の学習に前向きであり、描く活動にやや苦手意識があるが工作的な活動の方が意欲が高めであり、鑑賞に関しては表現より苦手意識のある生徒像がイメージできる。去年度のアンケートより、博物図譜について「見たことがある・聞いたことがある」と答えた生徒は学年で6名（/103名 93.2%）であった。以上のことから、鑑賞と表現（描く活動、つくる活動）が一体となりながら題材に関わっていく活動が有効であると考えられる。

本学年の生徒は、香川県中学校美術教育研究会の企画として2年生で高松嫁入人形（つまみ人形）の制作に取り組み、全員の作品が県立ミュージアムに展示された。また、2年生の終盤で本題材に取り組み、博物図譜の鑑賞、作品制作を行った。

(3) 本単元（題材）を指導する（個の「ものがたり」を深める）にあたって、次の点に留意したい。

- ・ 美術館職員の説明を聞き、対話する機会を設けることで、実社会の中で機能する美術の働きに触れさせる。
- ・ 博物図譜から1人1作品を選択し、魅力を表現させることで、作品制作・展示を自分ごととして考えさせる。
- ・ 美術館展示の参観者の感想を提示することで、見る側の気持ちを根拠として語らせるようにする。

## 5 本単元の目標

### (1) 本単元の「ものがたりの授業」構想図

#### 『ものがたりの授業』

★授業者のねがい（授業を通して生徒に期待する成長や変容）

美術館や社会の中の美術を自分たちのものとして身近に感じてほしい。

●題材「美術館」に対する「ものがたり」の変容

（学習前）

- ・美術館は遠い存在
- ・美術館は連れられていくところ

探究的な学び  
他者と語り合う

（学習後）

- ・美術館は社会の中で重要な機能を持っている。

《（授業者が考えた）単元学習後の「振り返り」例》 \*「自己に引きつけた語り」部分  
これまで、つまみ人形の復活や、博物図譜のPRなどに関わって、美術館と連携してきた。今回美術館について取り組んだことで、美術館の取り組みや機能を知ることができた。美術館のスタッフの立場で取り組んだことで、美術作品のよさがより身近に感じられたし、それを多くの人に知ってもらいたいと思うようになった。

### (2) 本単元で育成する資質・能力

知識 技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに意図に応じて自分の表現方法を追求し創造的に表すことができるようにする。	○博物図譜の価値や魅力を理解し、自分の表現に生かすことができる。 ○美術館の機能を学習し、題材における展示の企画に生かすことができる。
思考力 判断力 表現力 等	・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	○自分が選んだ博物図譜の作品を自分なりの視点で鑑賞し、そのよさを他者に伝えられるように作品に表現することができる。 ○展示者側の立場で来館者の視点を考えながら美術館展示の方法を考え、自分なりの工夫や意見をもつことができる。
学びに向かう力 人間性 等	・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め心豊かな生活を創造していく態度を養う。	○本題材の学習の振り返りの中で、作品や美術館の自分にとっての意味を見出し、自分との関わりについて考えることができる。

(3) 単元構成 (全5時間)

時間	◆学習内容と学習課題(中心の問い)	生徒の思考・反応・振り返り
2年	<p><u>(学習課題)「お祝いの心を表現しよう」</u></p> <p>かつてお嫁さんが近所の子どもたちに配ったつまみ人形。今は失われた文化を復活させましょう。</p> <p>◆「高松嫁入人形(つまみ人形)」の制作を通して「お祝い・縁起がいい」心のこもった作品を制作する。</p> <p>◆県立ミュージアムに作品群が展示されている様子を鑑賞する。</p> <p>香川県内の中学生が参加して、約4000体の思いがこもった作品が展示されました。</p>	<p>生徒の思考・反応・振り返り</p> <p>こんな文化がかつてあったんだ。すごくかわいい作</p> <p>どうやって表現しようか。誰にあげようかな。</p> <p>香川県立ミュージアムというところがあるんだな。</p> <p>お年寄りや小さい子が展示を見ている。展示してよかったな。</p>
2年	<p><u>(学習課題)「博物図譜と香川県をアピールする作品をつくらう」</u></p> <p>◆博物図譜について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・超絶技法が使われている。</li> <li>・専門家の評価は高いが県内外の知名度はまだまだ低い。</li> <li>・実は定期的に展示されている。</li> </ul> <p><u>(学習課題)香川県の魅力はなんだろうか</u></p> <p>◆博物図譜と香川県をアピールする作品を制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・★問いのしかけ①-1 図譜の生物約1500体から1つの作品を選ぶ</li> <li>・自分の考える香川の魅力を決める</li> <li>・★問いのしかけ①-2 2つを組み合わせ、手作業の要素を加えた作品を制作する。</li> </ul> <p><u>(学習課題) 博物図譜と香川県の魅力、自分はどこに惹かれたのだろう</u></p> <p>◆自分の選んだ図譜、香川県それぞれの魅力と作品の解説を文章にまとめる</p> <p>★問いのしかけ② 実際に美術館に展示して来館者に見てもらいましょう。今年は瀬戸芸の年なので、県外や海外の方にもアピールしましょう。</p>	<p>すごい技法。見ていて面白い。こんなすごい作品がまだ知っている人が少ないなんて!</p> <p>このページの作品にしよう。すごくかわいい色をしている。</p> <p>香川県の魅力って、調べるといっぱいあるんだな!</p> <p>2つの魅力をどう画面に構成しようか。</p> <p>自分が選んだ図譜と香川の魅力を組み合わせた、自分だけの作品ができた!</p> <p>自分たちの作品が集合したらすごいだろうな。展示されたいら見に行きたい。</p>

3年

(学習課題) 展示を見る人にどんな経験をしてもらいたい

1



皆さんの作品がミュージアムに展示されました。見に来た人にはどんな経験をしてもらいたいですか。

博物図譜や香川県に興味をもってもらいたい。



どちらも実物を見てもらいたいな。



その前に皆さんはどんなところに展示されているか知っていますか。展示されている場所はどんな空間なのでしょう。

そういえば行ったことない。



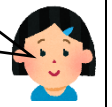
行ったことあるけど、あの場所は何をする場所なんだろう。



どんな人が来るのかも知らないな。



すごい。集まるとこんなに迫力があるのか。



2

(学習課題) 美術館の役割とはなんだろうか

◆ 県立ミュージアムでの作品の展示の様子を鑑賞する。美術館の職員の様子を聞く

◆ ★対話のしかけ① 美術館の職員に、その業務や美術館の役割について話を伺う (オンライン)

- ・美術館の役割・使命について
- ・美術館職員の業務について
- ・展示空間や利用者について

美術館にそんな役割があったなんて。



今回自分たちがやったことは、展示だけでなく、教育普及でもあるのか。



皆さんが取り組んだことは、アーティストとしてだけでなく、美術館の機能でもあるんですね。

美術館の仕事で大切にしていることって何ですか？



★対話のしかけ② 美術館が表現した人と鑑賞する人の思いをつなぐ場になるようにしています。

自分たちの思いは見た人に伝わったろうか？



美術館展示の次は校内で展示します。来た人たちに自分たちの思いがより伝わるにはどんな形がよいでしょうか。

来館者の反応が気になるな。



3

(本時)

(学習課題) 自分たちの取り組みを伝えるにはどのような展示形態にするのがよいだろうか

◆ ★対話のしかけ③ 美術館展示を見た人の感想を紹介する。

◆ 展示作品の配置について、より効果的な形態

今回は校内展示だから、見る人が美術館とは変わるぞ。



<p>4</p>	<p>はないか考える。</p> <p><b>(学習課題) 案のブラッシュアップに向けて足りないものはなんだろうか</b></p> <p>◆代表班のアイデアについて語り合うことで、どの班にも共通したブラッシュアップのヒントに気づく。</p> <p>◆視点をもとに展示案をブラッシュアップし、完成させる。</p> <p>◆美術館職員に登場してもらい、総評をいただく。</p>	<p>場所のアイデアは考えていたけど、どんな並び方にするかは考えてなかったな。</p> <p>考えているうちにコンセプトが曖昧だったことに気づいた。もう少し深く考えよう。</p> <p>自分たちのやったことが、学芸員の人たちがやっていることと同じだなんて！</p> <p>コンセプトを見た人が感じ取ってくれるといいな</p>
<p>5</p>	<p>◆代表案をもとに校内に作品を再展示する。</p> <p>◆校内に展示された全学級の作品を鑑賞する。</p> <p>単元を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年時からの制作を振り返り、今回の授業を通して自分の思いや考えを記述する。</li> </ul>	

## 6 本時の学習指導

### (1) 目標

- ・美術館職員の話や来館者の感想をもとに、校内展示の形態のあり方を考えることができる。
- ・作品群から得られる印象や、作品の情報が鑑賞者に与える影響を意識しながら、効果的な展示方法について、造形的に考えることができる。

### (2) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	予想される生徒の反応	○教師のかかわり・★しかけ
<p>1 前時を振り返る。</p>	<p>・自分たちの展示で美術館の雰囲気を学校にも持ち込みたい。</p>	<p>○教師のかかわり・★しかけ</p> <p>★美術館職員の講話の内容、来館者の感想を資料として配布しておく。</p>
<p><b>学習課題：案のブラッシュアップに向けて足りないものはなんだろうか</b></p>		
<p>2 学習課題について語り合う。(四人)</p> <p>3 班の展示計画からいくつかをピックアップし、全体から意見をもらう。(四人→全体)</p>	<p>・班のアイデアをひとつにまとめないとな。</p> <p>・場所は決めていたが、パネルの具体的な配置は決めてなかった。</p>	<p>○計画に盛り込む視点として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所、・全体の形、・パネルの配置を考慮するように伝える。</li> </ul> <p>○語り合いの際、根拠の有無を確認する。</p> <p>○語り合いの際、鑑賞体験のフィールドを意識し、意見の根拠が印象によるものか、背景的知識か、個人の考えかを分別する。</p> <p>○個人の考えを語る際、作品から離れたものにならないよう導く。</p>

T : 5 班の案について、天井に貼るアイデアが出ていますが、どう思いますか。

S1 : 天井なら自然と目がいくのでいいと思います。

S2 : 博物図譜は細かさが魅力なので、天井だと遠くて見にくく、魅力を伝えられないと思います。

T : 意見が分かれましたが、見やすいということは大事なのでしょうか？

S3 : うーん、よく見てもらうには見やすいのがいいと思っていただけ・・・

S4 : 遠くから見て「いいな」と思わせることができるなら、効果があると思います。意識して見てもらえる。遠くから見て興味を持ってもらえるなら、近寄って見てくれると思うし。

S5 : 5 班のねらいがそこにあるなら OK だと思う。

T : コンセプトによって、見やすさを重視するかどうかが決まるんですね。

T : 2 班の案について、階段の壁を使う案ですが、「自分達の制作のがんばりも伝えたい」とありますが、展示だけで完璧に伝えられるのでしょうか。

S : 展示だけで完璧には難しいな。

S : 展示だけで難しいなら、説明書きが必要？

S : でもすごくいいアイデアだし、作品を見ていたら、頑張ったんだっていうのは感じてもらえると思う。

S : アートだから、完全に伝えるというより、感じ取ってもらえればいいんだ。

T : 2 つの班の案について考えたことで、どの班にも共有したいことが出ましたね。

4 学習を振り返る  
(全体→個人)

- ・ミュージアム職員の櫻木さんに登場していただき、講評をいただく
- ・振り返りを記入する。

- ・自分たちが授業でやってきたことが、実際の学芸員の仕事と同じだなんて嬉しい。
- ・試行錯誤してアイデアを形にしてよかった。

7 見取り

- ・語り合いの場面で、美術館職員の言葉や来館者の感想を根拠として語り合えているか。
- ・語り合いの場面で、作品の造形的特徴やその効果を語り合いの対象として語り合えているか。
- ・単元の週末で書く振り返りにおいて、美術作品と展示の関係を、自分の経験をもとに価値づけながら記述することができるか。